

経済学部 経済学科

2018年度入学生カリキュラム

<目次>

◆ディプロマ・ポリシー（DP）/カリキュラム・ポリシー（CP）

学位授与の基本的な考え方として、卒業までに修得すべき専門知識や能力、到達目標を示したもの（DP）。各学科におけるDPを到達するためのカリキュラム編成を示した基本的な考え方（CP）。

◆カリキュラムマップ

武蔵野BASIS（全学共通基礎課程）および学科の科目を科目のレベルや学問分野ごとに体系化した図。

◆卒業所要単位表

学修の手引きに記載している「卒業の要件」のひとつである、卒業までに必要となる科目や単位について一覧化した表。

必修科目や指定された科目群の単位を1単位でも未修得の場合卒業要件に抵触することとなる。

※進級基準科目（進級するために単位の修得が必要な科目）についてもあわせて確認すること。

◆開講表〔武蔵野BASIS〕

武蔵野BASIS（全学共通基礎課程）の開講科目一覧。

履修条件欄や備考欄に履修における注意事項が記載されている場合があるので、必ず確認すること。

なお、科目の内容や履修条件の詳細については、シラバスを確認すること。

※開講科目の名称は課程年度（入学年度）により変更となる場合があるため、科目の名称変更と対応関係については最新の開講表を確認すること。

◆開講表〔学科科目〕

学科科目の開講科目一覧。

履修条件欄や備考欄に履修における注意事項が記載されている場合があるので、必ず確認すること。

なお、科目の内容や履修条件の詳細については、シラバスを確認すること。

※開講科目の名称は課程年度（入学年度）により変更となる場合があるため、科目の名称変更と対応関係については最新の開講表を確認すること。

◆履修モデル

将来の進路や目的に沿って、学科が推奨する学びの分野に応じた代表的な履修例。

卒業の要件を満たせることを保証をするものではないため、履修計画を立てる際には必ず開講表や卒業所要単位表、学修の手引きを確認すること。

◆成果に基づく単位認定

「留学の認定科目」「資格試験の合格による認定科目」「ボランティア活動による認定科目」の一覧。

≪付録：卒業所要単位表・開講表の見方≫

経済学科 カリキュラム・ポリシー

経済学の基礎から応用、最新の理論まで、段階的に学んでいけるように科目を配置しています。

経済学科の最も基礎となる[基礎科目群]は12科目あり、基礎から段階的に学べるように1年次、2年次ともに6科目ずつ配置しています。[基礎科目群]には「経済学基礎」「経済学入門」「統計学」「経済学と数学」「データ分析入門」「初年次ゼミ」「経済学のための数学」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「ゲーム理論」があり、これらは全員が履修します。

2年次になると[基幹科目群]が配置されます。[基幹科目群]は、[基礎科目群]の内容を理解していることを前提に、様々な分野の基本となる「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「計量経済学」「英語で学ぶ経済学」などから構成されています。[基幹科目群]も現代の経済学の基礎を学ぶ重要な科目群であり、すべての科目の履修を推奨します。

また2年次からはより専門的な科目も[展開科目群]として配置されます。[展開科目群]には、理論や制度を学ぶ科目（「国際貿易論」「経済政策論」など）、歴史を学ぶ科目（「国際経済史」「経済思想史」など）、データ分析を行う科目（「統計学」など）に分かれ、さらに経営学科や会計ガバナンス学科の科目も履修できます。これらの科目のうち、特に3年次に配置されている科目は、基礎・基幹科目群で学んだ経済学の基礎理論を応用して、特定分野についての実際の経済現象や制度の分析をより精緻に行います。法律学、政治学など他学科の科目も[隣接科目群]として設置しており、これらも各自の興味に応じて履修することができます。

さらに、2年次後期以降のプレゼミおよびゼミナールでは、講義科目で学んだ経済理論およびデータ分析の方法を使って、学生自身が主体的に現代の経済における課題の分析および問題解決に取り組むことによって、洞察力や判断力を養うことを目指します。ゼミナールで現実の問題を自分の頭で考える訓練を行うことによって、学んだ理論やデータ分析の方法を本当の意味で修得することができます。

知識・専門性 : 学びの基礎力を基盤とした専門能力

自ら教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる【教養・基礎学力】

多岐にわたる社会科学に接し、社会分析に必要な広い知識・基本的な考え方を修得している【教養・基礎学力】

現代経済の諸現象を読み解くことのできる専門的知識や視点を修得し、論理的に考える力を身につけている【専門性能力】

本格的な専門教育を受ける前に、全学共通の教養教育プログラムである「武蔵野BASIS」を履修します。「武蔵野BASIS」では、大学での学修に必要な基盤的な技法と知識の修得を目的として、「建学」、「健康体育」、「コンピュータ」、「日本語リテラシー」および「外国語」を学びます。また、同プログラムの「基礎セルフディベロップメント」において、「思想・芸術」、「国際・地域」、「社会・制度」、「人間・環境」、「物質・生命」、「数理・情報」の6分野を学ぶことにより、広い視野を備えたすぐれた人格の形成を目指します。

全員履修科目で専門能力を身につけるための基礎を学びます。「経済学入門」で最も基本となる経済学的考え方を学び、「経済学と数学」「経済学のための数学」や「統計学」で経済学を修得する上で欠かすことのできない数学・統計学といったツールを身につけます。これらの知識を前提として「ミクロ経済学」「マクロ経済学」で経済理論の基礎を修得します。

全員履修科目で得た経済学の基礎知識を前提として、基幹科目群・展開科目群の専門科目を学び、経済学の理解を深めます。

経済学の専門科目を主体的に学ぶことによって、理論的思考力、データ分析力、歴史的考察力を磨き、社会に役立つ専門性を身につけます。

関心・態度・人格 : 他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

グラフや表から経済現象の特徴・変化を読み取り、現代社会の問題点を検討できる能力を修得している【課題発見力】

グローバル社会の中で主体的に自分の意見の発信力、柔軟な考え方、またストレス耐性を身につけている【主体性・実行力・ストレスコントロール力】

本学の建学の精神を基に健全な倫理観、使命感を持って社会の発展に貢献できる【人格形成・使命感】

基礎・基幹科目群の知識をもとに、「金融論」「財政学」「国際経済史」「産業組織論」「日本経済論」「環境経済学」「労働経済学」「公共経済学」「国際貿易論」「国際金融論」などの専門科目を学ぶことによって、現代社会における諸問題を認識し、それらの問題を解決するために、どのように経済学の知見が応用されているかを理解します。この現実の社会に対する理解を前提に、「統計学」「データ分析入門」「計量経済学」等で学んだ、データを取得・分析する方法を使って、現実のデータから問題点を読み取り主体的に分析できる力を養います。

異文化や企業など学校以外の場を経験することによって、社会で主体的に行動する能力を身につけるために、語学研修、国内・海外インターンシップなどのプログラムを準備しています。

思考・判断 : 課題を多角的に捉え、創造的に考える力

ビッグデータ等に対応できる統計理論を理解し統計処理の方法を修得している【情報分析・論理的思考・判断力】

複雑な相互関係からなる現代経済の諸問題について、理論的・統計的・歴史的な観点から総合的に考えることができる【課題解決力】

経済理論と統計的方法を使って、経済社会の諸問題についての解決策を提案できる【創造的思考力】

経済学の専門科目で様々な経済理論を学ぶことによって、現実の社会における、ある特定の問題に対する解決策はひとつではなく、現代の経済理論の枠組みの中でさえいくつかの考え方が存在することを理解し、それらの中で最適な政策は何かを考える力を養います。また、「統計学」「データ分析入門」「計量経済学」等で学んだ、データを取得・分析する方法を使って、複数の考え方の中からどの政策を採用することが現実の課題の解決にもっとも有効であるかを分析できる力を身につけます。

実践的スキル・表現:多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

海外の経済状況に関心を持ち、議論できる【コミュニケーション力】

自らの考えを論理的に構成・整理し、伝える、意見交換ができる【ディスカッション力】

専門的知見を生かした研究成果をわかりやすくまとめ、報告できる【表現力】

グローバル社会の中で、多様な文化を理解し、他者と協力し、社会活動を牽引できる【傾聴力・チームワーク・リーダーシップ】

PC必携とし、授業・ゼミナールにおいてデータを用いた演習を充実させています。

プレゼミ・ゼミナールにおいて、レジュメやパワーポイントを利用したプレゼンテーションの方法や、ディスカッション・ディベートなどの方法を学び、多様な社会の中で適切な議論を行うことができる力を養います。

1年

2年

3・4年

1年				2年				3・4年	
<p>☆ SD 101 基礎セルフディベロップメント</p> <p>日本語リテラシー</p> <p>☆ JL 101 日本語リテラシー</p> <p>外国語 応用</p> <p>AL 101/102 英語資格・検定試験対策A/B</p> <p>AL 301/302 English for Studying Abroad 1/2</p> <p>AL 311/312 International Lectures 1/2</p>				<p>セルフディベロップメント</p> <p>SD 201 芸術のすすめ</p> <p>SD 202 数学的ものの考え方</p> <p>SD 203 社会現象を分析する</p> <p>SD 204 環境学への展望</p> <p>SD 205 人間の心理を探る</p> <p>SD 206 生命科学と人間</p> <p>SD 207 市民の社会貢献</p> <p>SD 208 市民生活と権利を考える</p> <p>SD 209 現代メディアの探求</p> <p>SD 210 社会情報と生活</p> <p>SD 211 日本の歴史</p> <p>SD 212 外国の歴史</p> <p>SD 213 哲学への探索</p> <p>SD 214 文化人類学への誘い</p> <p>SD 215 文学を読み解く楽しみ</p> <p>SD 221 ホスピタリティマインド概論</p> <p>SD 222 ホスピタリティマインド各論</p> <p>SD 231 プレゼンテーション</p>				<p>☆ 必修(進級基準科目) 必修科目</p> <p>★ 必修科目</p> <p>選択必修科目</p> <p>選択科目</p> <p>*各科目の履修条件は開講表を参照</p>	
<p>☆ CLT 101 コンピュータ基礎1</p> <p>CLT 102 コンピュータ基礎2</p>				<p>情報</p> <p>CLT 211 情報分析力1</p> <p>CLT 212 情報分析力2</p> <p>CLT 221 情報表現力1</p> <p>CLT 222 情報表現力2</p>					
<p>☆ ENG 101 英語1A</p> <p>☆ ENG 102 英語1B</p> <p>☆ ENG 103 英語1C</p> <p>☆ ENG 104 英語1D</p>				<p>外国語 英語</p> <p>★ ENG 201 英語2A</p> <p>★ ENG 202 英語2B</p> <p>★ ENG 203 英語2C</p> <p>★ ENG 204 英語2D</p>				<p>ENG 301 英語3A</p> <p>ENG 302 英語3B</p>	
<p>CHN 101 中国語1A</p> <p>CHN 102 中国語1B</p> <p>FRA 101 フランス語1A</p> <p>FRA 102 フランス語1B</p> <p>GER 101 ドイツ語1A</p> <p>GER 102 ドイツ語1B</p> <p>SPA 101 スペイン語1A</p> <p>SPA 102 スペイン語1B</p> <p>KOR 101 韓国語1A</p> <p>KOR 102 韓国語1B</p>				<p>外国語</p> <p>CHN 201 中国語2A</p> <p>CHN 202 中国語2B</p> <p>FRA 201 フランス語2A</p> <p>FRA 202 フランス語2B</p> <p>GER 201 ドイツ語2A</p> <p>GER 202 ドイツ語2B</p> <p>SPA 201 スペイン語2A</p> <p>SPA 202 スペイン語2B</p> <p>KOR 201 韓国語2A</p> <p>KOR 202 韓国語2B</p>				<p>CHN 301 中国語3A</p> <p>CHN 302 中国語3B</p> <p>FRA 301 フランス語3A</p> <p>FRA 302 フランス語3B</p> <p>GER 301 ドイツ語3A</p> <p>GER 302 ドイツ語3B</p> <p>SPA 301 スペイン語3A</p> <p>SPA 302 スペイン語3B</p> <p>KOR 301 韓国語3A</p> <p>KOR 302 韓国語3B</p>	
<p>★ BDS 101 仏教概説</p> <p>BDS 111 共生社会</p>				<p>建学</p> <p>BDS 201 しあわせを考える</p>				<p>サブ・メジャー</p> <p>SUBM 201 サブ・メジャー(ゼミナル)1</p> <p>SUBM 202 サブ・メジャー(ゼミナル)2</p> <p>SUBM 311 サブ・メジャー(総合研究)1</p> <p>SUBM 312 サブ・メジャー(総合研究)2</p>	
<p>HPE 101 健康体育1</p> <p>★ HPE 112 人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)</p>				<p>健康体育</p> <p>HPE 201 健康体育2</p> <p>HPE 211 オリンピック・パラリンピック文化論</p>					
<p>★ FW 101 フィールド・スタディーズ</p> <p>FW 111/112/113/114 フィールド・スタディーズ 1/2/3/4</p> <p>FW 121/122/123/124/125 海外フィールド・スタディーズ 1/2/3/4/5</p>				<p>インターンシップ</p> <p>INT 201 インターンシップ(事前研究)</p> <p>INT 211/212/213/214 インターンシップ 1/2/3/4</p> <p>INT 221/222/223 海外インターンシップ 1/2/3</p>					
<p>EC 101 寄付講座1</p>				<p>寄付講座</p> <p>EC 202 証券ビジネス論</p> <p>EC 204 金融リテラシー(金融と人生設計)</p> <p>EC 205 未来型都市とメディア</p>					

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS (26)	必修 (22)	【建学科目】 仏教概説 [4単位]	4
		【健康体育科目】 人生の歩き方を考える(キャリアデザイン) [1単位]	1
		【情報科目】 コンピュータ基礎1 [1単位] ★	1
		【外国語】 <1年次> 英語1A～1D [計4単位] ★ <2年次> 英語2A～2D [計4単位]	8
		【日本語リテラシー】 日本語リテラシー [1単位] ★	1
		【基礎セルフディベロップメント】 基礎セルフディベロップメント [6単位] ★	6
	【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】 フィールド・スタディーズ [1単位]	1	
	選択必修 (4)	【発展セルフディベロップメント】 <2～4年次> 発展セルフディベロップメント [2科目4単位選択]	4
学科学目 (84)	選択必修 (60)	【基礎科目群・基幹科目群・展開科目群・応用科目群・最先端研究】より60単位 ※上記のうち24単位は【基礎科目群・基幹科目群】より修得すること	84
	選 択 (24)	学科学目から24単位を選択 (60単位を超えて修得した選択必修の単位を含む)	
自由選択科目 (14)		以下の科目から14単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS (所要26単位を超えて修得した単位) ②学科学目 (所要84単位を超えて修得した単位) ③他学部・他学科履修許可科目 ④日本事情に関する科目 ⑤成果に基づく認定科目 (「海外語学研修1～4」「資格認定 I～VII」「ボランティア活動1～5」等)	14
合 計			124

※ BASIS進級基準科目 (★) 武蔵野BASISの進級基準科目を未修得の場合、進級要件に抵触し、次の学年に進級することができません。

※ 開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。

※ 履修計画を立てる際には、必ず「[学修の手引き](#)」の「[履修計画](#)」や「[履修登録](#)」を参照してください。

経済学部 経済学科 -2018年度入学生-

開講表 [BASIS科目]

2019年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考	
			必修	選択			
【建学科目】							
BDS 101	仏教概説	1年	4				
BDS 111	共生社会	1年		2			
BDS 201	しあわせを考える	2年		2			
【健康体育科目】							
HPE 101	健康体育1	1年		1			
HPE 201	健康体育2	2年		1			
HPE 211	オリンピック・パラリンピック文化論	2年		2			
HPE 112	人生の歩き方を考える (キャリアデザイン)	1年	1				
【情報科目】							
CLT 101	コンピュータ基礎1	1年	1			進級基準科目	
CLT 102	コンピュータ基礎2	1年		1			
CLT 211	情報分析力1	2年		1			
CLT 212	情報分析力2	2年		1			
CLT 221	情報表現力1	2年		1			
CLT 222	情報表現力2	2年		1			
【外国語】							
ENG 101	英語1 A	1年	1			進級基準科目	
ENG 102	英語1 B	1年	1			進級基準科目	
ENG 103	英語1 C	1年	1			進級基準科目	
ENG 104	英語1 D	1年	1			進級基準科目	
ENG 201	英語2 A	2年	1				
ENG 202	英語2 B	2年	1				
ENG 203	英語2 C	2年	1				
ENG 204	英語2 D	2年	1				
ENG 301	英語3 A	3年		1			
ENG 302	英語3 B	3年		1			
CHN 101	中国語 1 A	1年		1	①中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語 1A~1Dにおいて ◆通年の履修が必須。(1A+1Cのセットで履修、 1B+1Dのセットで履修、または1A~1Dの全てを履修の3 パターンの中のいずれか)		
CHN 102	中国語 1 B	1年		1			
CHN 103	中国語 1 C	1年		1			
CHN 104	中国語 1 D	1年		1			
CHN 201	中国語 2 A	2年		1	◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする 国に1年以上の滞在経験がある者は履修不可		
CHN 202	中国語 2 B	2年		1			
CHN 203	中国語 2 C	2年		1			
CHN 204	中国語 2 D	2年		1			
CHN 301	中国語 3 A	3年		1	②中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語2A・2B において ※第二外国語クラスは2Cおよび2Dの開講はありません。 ◆通年の履修が必須。(2A+2Bのセットで履修)		
CHN 302	中国語 3 B	3年		1			
FRA 101	フランス語 1 A	1年		1		◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする 国に2年以上の滞在経験がある者は履修不可	
FRA 102	フランス語 1 B	1年		1			
FRA 103	フランス語 1 C	1年		1			
FRA 104	フランス語 1 D	1年		1			
FRA 201	フランス語 2 A	2年		1	③中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・韓国語3A・3B において ◆その言語を母語とする者および、その言語を公用語とする 国に3年以上の滞在経験がある者は履修不可		
FRA 202	フランス語 2 B	2年		1			
FRA 203	フランス語 2 C	2年		1			
FRA 204	フランス語 2 D	2年		1			
FRA 301	フランス語 3 A	3年		1			
FRA 302	フランス語 3 B	3年		1			
GER 101	ドイツ語 1 A	1年		1			
GER 102	ドイツ語 1 B	1年		1			
GER 103	ドイツ語 1 C	1年		1			
GER 104	ドイツ語 1 D	1年		1			
GER 201	ドイツ語 2 A	2年		1			
GER 202	ドイツ語 2 B	2年		1			
GER 203	ドイツ語 2 C	2年		1			
GER 204	ドイツ語 2 D	2年		1			

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
GER 301	ドイツ語 3 A	3年		1		
GER 302	ドイツ語 3 B	3年		1		
SPA 101	スペイン語 1 A	1年		1		
SPA 102	スペイン語 1 B	1年		1		
SPA 103	スペイン語 1 C	1年		1		
SPA 104	スペイン語 1 D	1年		1		
SPA 201	スペイン語 2 A	2年		1		
SPA 202	スペイン語 2 B	2年		1		
SPA 203	スペイン語 2 C	2年		1		
SPA 204	スペイン語 2 D	2年		1		
SPA 301	スペイン語 3 A	3年		1		
SPA 302	スペイン語 3 B	3年		1		
KOR 101	韓国語 1 A	1年		1		
KOR 102	韓国語 1 B	1年		1		
KOR 103	韓国語 1 C	1年		1		
KOR 104	韓国語 1 D	1年		1		
KOR 201	韓国語 2 A	2年		1		
KOR 202	韓国語 2 B	2年		1		
KOR 203	韓国語 2 C	2年		1		
KOR 204	韓国語 2 D	2年		1		
KOR 301	韓国語 3 A	3年		1		
KOR 302	韓国語 3 B	3年		1		
【外国語 応用】						
AL 301	English for Studying Abroad 1	1・2年		1		
AL 302	English for Studying Abroad 2	1・2年		1		
AL 311	International Lectures 1	1・2・3・4年		1		
AL 312	International Lectures 2	1・2・3・4年		1		
AL 101	英語資格・検定試験対策A	1年		1		
AL 102	英語資格・検定試験対策B	1年		1		
【日本語リテラシー】						
JL 101	日本語リテラシー	1年	1			進級基準科目
【セルフディベロップメント科目】						
<基礎セルフディベロップメント>						
SD 101	基礎セルフディベロップメント	1年	6			進級基準科目
<発展セルフディベロップメント>						
SD 201	芸術のすすめ	2年		2		4単位選択必修
SD 202	数学的ものの考え方	2年		2		
SD 203	社会現象を分析する	2年		2		
SD 204	環境学への展望	2年		2		
SD 205	人間の心理を探る	2年		2		
SD 206	生命科学と人間	2年		2		
SD 207	市民の社会貢献	2年		2		
SD 208	市民生活と権利を考える	2年		2		
SD 209	現代メディアの探求	2年		2		
SD 210	社会情報と生活	2年		2		
SD 211	日本の歴史	2年		2		
SD 212	外国の歴史	2年		2		
SD 213	哲学への探索	2年		2		
SD 214	文化人類学への誘い	2年		2		
SD 215	文学を読み解く楽しみ	2年		2		
SD 221	ホスピタリティマインド概論	2年		2		選択必修対象外
SD 222	ホスピタリティマインド各論	2年		2		
SD 231	プレゼンテーション	2年		2		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】						
FW 101	フィールド・スタディーズ	1年	1			
FW 111	フィールド・スタディーズ 1	1年		1		
FW 112	フィールド・スタディーズ 2	1年		2		
FW 113	フィールド・スタディーズ 3	1年		3		
FW 114	フィールド・スタディーズ 4	1年		4		
FW 121	海外フィールド・スタディーズ 1	1年		2		
FW 122	海外フィールド・スタディーズ 2	1年		3		
FW 123	海外フィールド・スタディーズ 3	1年		4		
FW 124	海外フィールド・スタディーズ 4	1年		5		
FW 125	海外フィールド・スタディーズ 5	1年		6		
【インターンシップ科目】						
INT 201	インターンシップ (事前研究)	2年		1	◆シラバスやガイダンスで確認すること	
INT 211	インターンシップ 1	2年		1		
INT 212	インターンシップ 2	2年		2		
INT 213	インターンシップ 3	2年		4		
INT 214	インターンシップ 4	2年		6		
INT 221	海外インターンシップ 1	2年		4		
INT 222	海外インターンシップ 2	2年		6		
INT 223	海外インターンシップ 3	2年		8		
【副専攻 (サブ・メジャー) 科目群】						
SUBM 201	サブ・メジャー (ゼミナール) 1	2年		2		
SUBM 202	サブ・メジャー (ゼミナール) 2	2年		4		
SUBM 311	サブ・メジャー (総合研究) 1	3年		2	◆「サブ・メジャー (ゼミナール) 1」または「サブ・メジャー (ゼミナール) 2」を履修していること	
SUBM 312	サブ・メジャー (総合研究) 2	3年		4		
【寄付講座科目】						
EC 101	寄付講座1	1・2・3・4年		2		寄付講座：武蔵野市
EC 201	資金計画論	2年		2		休講
EC 202	証券ビジネス論	2年		2		寄付講座：野村証券
EC 203	経済教育論	2年		2		休講
EC 204	金融リテラシー (金融と人生設計)	2年		2		寄付講座：金融広報中央委員会
EC 205	未来型都市とメディア	2年		2		寄付講座：ピーエスフジ

履修条件については、「学修の手引き」の説明を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

経済学部 経済学科 -2018年度入学生-

開講表 [学科科目]

2019年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考	
			必修	選択			
【基礎科目群】							
ECON 101	経済学基礎 1	1年		2	◆全員履修		
ECON 191	初年次ゼミ	1年		1	◆全員履修		
ECON 111	経済学入門	1年		2	◆全員履修		
ECON 103	経済学と数学	1年		1	◆全員履修		
ECON 201	経済学のための数学	2年		2	◆全員履修		
ECON 104	統計学 1	1年		2	◆全員履修		
ECON 105	データ分析入門	1年		2	◆全員履修		
ECON 211	ミクロ経済学 1	2年		2	◆全員履修 ◆「経済学入門」を履修していること		
ECON 212	ミクロ経済学 2	2年		2	◆全員履修 ◆「ミクロ経済学1」を履修していること		
ECON 221	マクロ経済学 1	2年		2	◆全員履修		
ECON 222	マクロ経済学 2	2年		2	◆全員履修 ◆「マクロ経済学1」を履修していること		
ECON 217	ゲーム理論 1	2年		2	◆全員履修		
【基幹科目群】							
ECON 102	経済学基礎 2	1年		1			
ECON 205	計量経済学 1	2年		2	◆「統計学2」を履修していること		
ECON 206	計量経済学 2	2年		2	◆「計量経済学1」を履修していること		
ECON 213	ミクロ経済学 3	2年		2	◆「ミクロ経済学2」を履修していること		
ECON 314	ミクロ経済学 4	3年		2	◆「ミクロ経済学3」を履修していること		
ECON 223	マクロ経済学 3	2年		2	◆「マクロ経済学2」を履修していること		
ECON 324	マクロ経済学 4	3年		2	◆「マクロ経済学2」を履修していること		
ECON 271	英語で学ぶ経済学 1	2年		2			
ECON 272	英語で学ぶ経済学 2	2年		2			
【展開科目群】							
BDS 111	共生原理	1年		2		【基礎科目群・基幹科目群・展開科目群・応用科目群・最先端研究】より60単位選択必修 (※60単位の内、24単位は【基礎科目群・基幹科目群】より取得すること)	
ECON 204	統計学 2	2年		2	◆「統計学 1」を履修していること		
ECON 335	データで学ぶ世界経済	3年		2			
ECON 363	データで学ぶ日本経済史	3年		2			
ECON 218	ゲーム理論 2	2年		2	◆「ゲーム理論 1」を履修していること		
ECON 227	金融論 1	2年		2	◆「経済学入門」かつ「マクロ経済学 2」を履修していること		
ECON 228	金融論 2	2年		2	◆「金融論1」を履修していること		
ECON 241	財政学 1	2年		2	◇「経済学S1(経済学入門)」を履修していること		
ECON 242	財政学 2	2年		2	◆「財政学1」を履修していること		
ECON 261	国際経済史 1	2年		2			
ECON 262	国際経済史 2	2年		2	◆「国際経済史1」を履修していること		
ECON 291	経済学プレゼミ	2年		2	◆全員履修		
ECON 321	国際金融論 1	3年		2	◆「経済学入門」かつ「マクロ経済学1」を履修していること		
ECON 322	国際金融論 2	3年		2	◆国際金融論1を履修していること		
ECON 323	日本経済論	3年		2			
ECON 331	国際貿易論 1	3年		2	◇「ミクロ経済学2」を履修していること		
ECON 332	国際貿易論 2	3年		2	◆「国際貿易論 1」を履修していること		
ECON 333	経済政策論	3年		2	◇「ミクロ経済学3」かつ「マクロ経済学2」を履修していること		
ECON 341	公共経済学 1	3年		2	◇「ミクロ経済学2」を履修していること		
ECON 342	公共経済学 2	3年		2	◆「公共経済学1」を履修していること		
ECON 343	環境経済学 1	3年		2	◇「ミクロ経済学2」を履修していること		
ECON 344	環境経済学 2	3年		2	◆「環境経済学1」を履修していること		
ECON 325	金融システム論	3年		2			
ECON 355	行動経済学	3年		2			

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
ECON 345	途上国の経済分析	3年		2		
ECON 334	都市経済学	3年		2		
ECON 351	産業組織論 1	3年		2	◇「ミクロ経済学2」かつ「ゲーム理論1」を履修していること	
ECON 352	産業組織論 2	3年		2	◆「産業組織論1」を履修していること	
ECON 353	労働経済学 1	3年		2	◆「ミクロ経済学 2」を履修していること	
ECON 354	労働経済学 2	3年		2	◆「労働経済学 1」を履修していること ◇「ゲーム理論2」を履修していること	
ECON 361	経済思想史 1	3年		2		
ECON 362	経済思想史 2	3年		2	◆「経済思想史1」を履修していること	
BIZ 111	経営学入門	1年		2		
BIZ 211	経営学基礎	2年		2		
ACF 221	フィナンシャル・プランニング論 1	2年		2		
ACF 222	フィナンシャル・プランニング論 2	2年		2		
ACF 121	会計学入門	1年		2		
ACF 211	簿記 1	2年		2		有明キャンパスのみ履修可
ACF 212	簿記 2	2年		2	◆「簿記1」を履修していること	有明キャンパスのみ履修可
【応用科目群】						
ECON 381	経済学特殊研究 A	3年		2		
ECON 382	経済学特殊研究 B	3年		2		
【最先端研究】						
ECON 391	ゼミナル 1	3年		2	◆全員履修	
ECON 392	ゼミナル 2	3年		2	◆全員履修	
ECON 491	ゼミナル 3	4年		2	◆全員履修	
ECON 492	ゼミナル 4	4年		2	◆全員履修	
ECON 493	卒業論文	4年		2	◆「ゼミナル4」を履修していること	
【資格対策科目群】						
CD 261	地方公務員特殊研究 1	2年		4		
CD 262	地方公務員特殊研究 2	2年		4		
CD 363	地方公務員特殊研究 3	3年		4		
CD 364	地方公務員特殊研究 4	3年		4		
CD 361	キャリア開発	3年		2		
【隣接科目群】						
<法律学>						
LAW 101	法学 1 (法学の基礎)	1年		2		
LAW 102	法学 2 (法学概論)	1年		2		休講
LAW 111	憲法 1 (統治)	1年		2		
LAW 112	憲法 2 (人権)	1年		2		
LAW 123	民法 S 1 (総則)	2年		2		
LAW 227	民法 S 2 (物権法・担保物権法)	2年		2		
LAW 228	民法 S 3 (債権各論)	2年		2		
LAW 229	民法 S 4 (債権総論)	2年		2		
LAW 211	行政法 1 (総論①)	2年		2		
LAW 311	行政法 2 (総論②)	3年		2	◆「行政法1 (総論①)」を履修していること	
LAW 321	民法 5 A (親族法)	3年		2		
LAW 322	民法 5 B (相続法)	3年		2		
<政治学>						
POLS 101	政治学原論 1	1年		2		
POLS 102	政治学原論 2	1年		2		
POLS 211	政治学史 1	2年		2		
POLS 212	政治学史 2	2年		2		
POLS 221	日本政治論	2年		2		
POLS 222	行政学	2年		2		
POLS 223	公共政策論 1	2年		2		
POLS 224	公共政策論 2	2年		2		
POLS 241	国際政治学 1	2年		2		
POLS 242	国際政治学 2	2年		2		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【育成プログラム】						
EXPG 150	国家公務員育成プログラム 1	1年		1	◆育成プログラム生のみ	
EXPG 151	国家公務員育成プログラム 2	1年		1		
EXPG 250	国家公務員育成プログラム 3	2年		1		
EXPG 251	国家公務員育成プログラム 4	2年		1		
-	育成プログラム 1	時間割表参照		1		
-	育成プログラム 2	時間割表参照		2		
-	育成プログラム 3	時間割表参照		3		
-	育成プログラム 4	時間割表参照		4		
-	育成プログラム 5	時間割表参照		5		
-	育成プログラム 6	時間割表参照		6		
-	育成プログラム 7	時間割表参照		8		

履修条件については、「学修の手引き」の説明を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

経済学科 履修モデル 2018年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

金融志向

【進路イメージ】

銀行(メガバンク、地方銀行)、信用金庫、生命保険会社、損害保険会社、証券会社等

【モデル概要】

このモデルは、カリキュラムの編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、経済学の基礎から専門的な水準まで系統立てて学ぶことに加え、特に金融業界での活躍を鑑み、金融の知識を習得する「金融論」「国際金融論」、数字・統計に強くなるための「統計学」を積極的に学ぶように構成しています。

★必修科目 ☆全員履修科目 数字は単位数

科目区分		1年		2年		3年		4年		
武蔵野BASIS (26)	必修 (22)	建学科目	★ 仏教概説	4						
		健康体育科目	★ 人生の歩き方を考える (キャリアデザイン)	1						
		情報科目	★ コンピュータ基礎 1	1						
		外国語 英語	★ 英語1A～1D	4	★ 英語2A～2D	4				
		日本語リテラシー	★ 日本語リテラシー	1						
		セルフディベロップメント科目	★ 基礎セルフディベロップメント	6						
		フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ	1						
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目					発展セルフディベロップメント	4			
学科科目 (84)	選択必修 (60)	基礎科目群	☆ 経済学基礎 1	2	☆ ミクロ経済学 1	2				
			☆ データ分析入門	2	☆ ミクロ経済学 2	2				
			☆ 経済学入門	2	☆ マクロ経済学 1	2				
			☆ 初年次ゼミ	1	☆ マクロ経済学 2	2				
			☆ 経済学と数学	1	☆ 経済学のための数学	2				
			☆ 統計学1	2	☆ ゲーム理論 1	2				
		基幹科目群	経済学基礎 2	1	計量経済学 1 or 英語で学ぶ経済学 1	2				
					計量経済学 2 or 英語で学ぶ経済学 2	2				
			経営学入門	2	☆ 経済学プレゼミ	2	マクロ経済学 4	2	経済政策論 or 日本経済論	2
			会計学入門	2	統計学 2	2	産業組織論 1 or 国際貿易論 1	2	途上国の経済分析	2
展開科目群	共生原理	2	ミクロ経済学 3	2	産業組織論 2 or 国際貿易論 2	2				
			マクロ経済学 3	2	国際金融論 1	2				
			簿記 1	2	国際金融論 2	2				
			財政学 1	2	環境経済学 1	2				
			財政学 2	2	環境経済学 2	2				
			金融論 1	2	金融システム論	2				
			金融論 2	2	データで学ぶ世界経済	2				
			国際経済史 1	2	データで学ぶ日本経済史	2				
					行動経済学	2				
					都市経済学	2				
	応用科目群									
	最先端研究					☆ ゼミナール 1～2	4	☆ ゼミナール 3～4	4	
						卒業論文	2		2	
選 択 (24)						キャリア開発	2			
自由選択科目(14)						金融リテラシー(金融と人生設計)	2	不動産評価論 (東京都不動産鑑定士協会寄付講座)	2	
備考						証券ビジネス論	2			
履修モデル 計			35	40		38		12		
履修上限単位数(CAP) ※1			40	40		40		40		
履修モデル単位数 ※2					合計 125単位					
卒業所要単位数 ※3					合計124単位以上					

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位数表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

経済学科 履修モデル 2018年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

民間企業志向

グローバル展開を行っている国内外のリーディングカンパニー、業界を先導する先進的企業、優良中堅企業、ベンチャー企業、起業家など

このモデルでは、カリキュラムの編成方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、経済学の基礎から専門的な水準まで系統立てて学んでいきます。特に3年次からは、自分の進路志望に合わせて広く・深く学べるように構成しています。

★必修科目 ☆全員履修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年			
武蔵野BASIS (26)	必修 (22)	建学科目	★ 仏教概説	4				
		健康体育科目	★ 人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1				
		情報科目	★ コンピュータ基礎 1	1				
		外国語 英語	★ 英語1A～1D	4	★ 英語2A～2D	4		
		日本語リテラシー	★ 日本語リテラシー	1				
		セルフディベロップメント科目	★ 基礎セルフディベロップメント	6				
		フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ	1				
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目			発展セルフディベロップメント	4			
学科科目 (84)	選択必修 (60)	基礎科目群	☆ 経済学基礎 1	2	☆ ミクロ経済学 1	2		
			☆ データ分析入門	2	☆ ミクロ経済学 2	2		
			☆ 経済学入門	2	☆ マクロ経済学 1	2		
			☆ 初年次ゼミ	1	☆ マクロ経済学 2	2		
			☆ 経済学と数学	1	☆ 経済学のための数学	2		
			☆ 統計学1	2	☆ ゲーム理論 1	2		
		基幹科目群	経済学基礎 2	1	統計学 2	2	計量経済学 1 or 英語で学ぶ経済学 1	2
							計量経済学 2 or 英語で学ぶ経済学 2	2
							経済思想史 1	2
							経済思想史 2	2
展開科目群	経営学入門	2	☆ 経済学プレゼミ	2	産業界組織論 1 or 国際貿易論 1	2	日本経済論 or 経済政策論	2
	会計学入門	2	ミクロ経済学 3	2	産業界組織論 2 or 国際貿易論 2	2	経済思想史 1 or 公共経済学 1	2
	共生原理	2	マクロ経済学3	2	環境経済学 1	2	経済思想史 2 or 公共経済学 2	2
			簿記 1	2	環境経済学 2	2		
			財政学 1 or 金融論 1	2	金融システム論	2		
			財政学 2 or 金融論 2	2	データで学ぶ世界経済	2		
応用科目群					データで学ぶ日本経済史	2		
					途上国の経済分析	2		
最先端研究					行動経済学	2		
					☆ セミナール 1～2	4	☆ セミナール 3～4	4
選 択 (24)					卒業論文	2		
					マーケティング 1 or 経営戦略 1	2		
自由選択科目(14)					マーケティング 2 or 経営戦略 2	2		
					情報表現力1	2	証券ビジネス論	2
備考					金融リテラシー(金融と人生設計)	2		
履修モデル 計		35	38	40	12			
履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40			
履修モデル単位数 ※2		合計 125単位						
卒業所要単位数 ※3		合計124単位以上						

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位数表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

経済学科 履修モデル 2018年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

公務員志向

国家公務員一般職、
地方公務員上級職(県庁、特別区、政令指定市)
国家公務員専門職、地方公務員一般職

ミクロ経済学、マクロ経済学などの経済学の主要科目に加え、憲法、民法(ショートコース)、行政法など公務員試験に必要な科目を履修します。さらに、「地方公務員特殊研究1～4」を履修することで、合格のための実践的能力を習得することができます。また、これとは別に、国家公務員育成プログラムが用意されており、要件を満たせば、1年次後半または2年次から編入することができます。なお、専門試験のない市役所を目指す学生は、民法などの法律科目を履修する必要はありません。

★必修科目 ☆全員履修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年				
武蔵野BASIS (26)	必修 (22)	建学科目	★ 仏教概説	4					
		健康体育科目	★ 人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1					
		情報科目	★ コンピュータ基礎 1	1					
		外国語 英語	★ 英語1A～1D	4	★ 英語2A～2D	4			
		日本語リテラシー	★ 日本語リテラシー	1					
		セルフディベロップメント科目	★ 基礎セルフディベロップメント	6					
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ	1						
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目			発展セルフディベロップメント	4				
学科科目 (84)	選択必修 (60)	基礎科目群	☆ 経済学基礎 1	2	☆ ミクロ経済学 1	2			
			☆ データ分析入門	2	☆ ミクロ経済学 2	2			
			☆ 経済学入門	2	☆ マクロ経済学 1	2			
			☆ 初年次ゼミ	1	☆ マクロ経済学 2	2			
			☆ 経済学と数学	1	☆ 経済学のための数学	2			
			☆ 統計学1	2	☆ ゲーム理論 1	2			
	展開科目群	経営学入門	2	☆ 経済学プレゼミ	2	日本経済論	2		
会計学入門		2	マクロ経済学 3	2	経済政策論	2			
共生原理		2	財政学 1	2	公共経済学 1 *	2			
応用科目群			財政学 2	2	公共経済学 2 *	2			
			簿記 1 *	2	金融システム論	2			
最先端研究			簿記 2 *	2					
選択 (24)		法学 1 (法学の基礎)	2	地方公務員特殊研究 1 (数的処理、図形問題)	4	地方公務員特殊研究 3 (社会科学)	4		
		憲法 1 (統治)	2	地方公務員特殊研究 2 (判断推理等)	4	地方公務員特殊研究 4 (一般教養)	4		
				憲法 2 (人権)	2	民法 S 1 (総則)	2	民法 S 2 (物権法・担保物権法)	2
				行政法1(総論①)	2	民法 S 3 (債権各論)	2	民法 S 4 (債権総論)	2
						行政法2(総論②)	2		
自由選択科目(14)						☆ ゼミナール 1～2	4	☆ ゼミナール 3～4	4
備考						卒業論文	2	(行政学*)	2
履修モデル 計		38	40	38	10				
履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40				
履修モデル単位数 ※2				合計 126単位					
卒業所要単位数 ※3				合計124単位以上					

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAIによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位数表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

経済学科 履修モデル 2018年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

経済専門職志向

大学院、コンサルタント、アナリスト、国家公務員総合職(経済)等

このモデルは、経済学の基礎から専門的かつ高度な水準まで系統立てて学び、経済に関わる諸問題を分析できるを習得し、大学院進学や公務員試験で必要とされる能力を身に付けられるよう構成しています。特に大学院進学の場合は、「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「計量経済学」で基礎を固め、3年生の専門科目、ゼミナールで関心をもつ専門分野を学ぶことで高度な知識が習得できるようにしています。

★必修科目 ☆全員履修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年			
武蔵野BASIS (26)	必修 (22)	建学科目	★ 仏教概説	4				
		健康体育科目	★ 人生の歩き方を考える(キャリアデザイン)	1				
		情報科目	★ コンピュータ基礎 1	1				
		外国語 英語	★ 英語1A～1D	4	★ 英語2A～2D	4		
		日本語リテラシー	★ 日本語リテラシー	1				
		セルフディベロップメント科目	★ 基礎セルフディベロップメント	6				
		フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ	1				
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント	4				
学科科目 (84)	選択必修 (60)	基礎科目群	☆ 経済学基礎 1	2	☆ ミクロ経済学 1	2		
			☆ データ分析入門	2	☆ ミクロ経済学 2	2		
			☆ 経済学入門	2	☆ マクロ経済学 1	2		
			☆ 初年次ゼミ	1	☆ マクロ経済学 2	2		
			☆ 経済学と数学	1	☆ 経済学のための数学	2		
			☆ 統計学1	2	☆ ゲーム理論 1	2		
		基幹科目群	経済学基礎 2	1	統計学 2	2	経済思想史 1	2
					計量経済学 1	2		
					計量経済学 2	2		
					英語で学ぶ経済学 1	2		
		英語で学ぶ経済学 2	2					
展開科目群	経営学入門	2	☆ 経済学プレゼミ	2	ミクロ経済学 4	2		
	会計学入門	2	ミクロ経済学 3	2	マクロ経済学 4	2		
	共生原理	2	マクロ経済学 3	2	経済思想史 2	2		
			ゲーム理論 2	2	公共経済学 1	2		
			簿記 1	2	公共経済学 2	2		
					産業組織論 1	2		
					産業組織論 2	2		
					国際貿易論 1	2		
					国際貿易論 2	2		
					国際金融論 1	2		
				環境経済学 1	2			
				環境経済学 2	2			
				金融システム論	2			
				行動経済学	2			
				都市経済学	2			
応用科目群					経済学特殊研究 A	2		
					経済学特殊研究 B	2		
最先端研究				☆ ゼミナール 1～2	4	☆ ゼミナール 3～4	4	
						卒業論文	2	
選択 (24)								
自由選択科目(14)				情報表現力1	1			
備考				情報表現力2	1			
履修モデル 計		35	36	38	14			
履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40			
履修モデル単位数 ※2		合計 127単位						
卒業所要単位数 ※3		合計124単位以上						

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

成果に基づく認定科目（各学科共通）

成果に基づく認定科目とは、次のいずれかに該当する場合に単位認定される科目をいいます。

- (1) 留学プログラムの学修成果について、科目読替の対象となる単位以外の単位認定
- (2) 本学で認めた単位認定対象講座の受講により、資格試験の合格によって認められる単位認定
- (3) 本学で認めたボランティア活動による単位認定
- (4) その他本学が認めた単位認定

1. 留学の認定科目（科目読替の対象となる単位以外のもの）

留学区分	科目名	単位	科目区分	備考
協定留学	協定留学1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて本学の認定可能な科目、及び左記科目を組み合わせて通年で40単位（半期のみ20単位）まで認定可能
	協定留学2	2		
	協定留学3	4		
	協定留学4	6		
	協定留学5	8		
	協定留学6	10		
	協定留学7	10		
認定（SAP）留学	認定留学1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて、2単位から10単位まで認定可能
	認定留学2	2		
	認定留学3	4		
	認定留学4	6		
	認定留学5	8		
	認定留学6	10		
	認定留学7	10		
第2学期留学プログラム	短期留学プログラム1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて、2単位から10単位まで認定可能
	短期留学プログラム2	2		
	短期留学プログラム3	3		
	短期留学プログラム4	4		
	短期留学プログラム5	5		
	短期留学プログラム6	6		
	短期留学プログラム7	7		
	短期留学プログラム8	8		
	短期留学プログラム9	9		
	短期留学プログラム10	10		
短期語学研修	海外語学研修1	2	自由選択科目 ※	留学先の学修時間に応じて各語学研修について、2単位から4単位まで認定可能
	海外語学研修2	3		
	海外語学研修3	4		
	海外語学研修4	4		

2. 資格試験の合格による認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
資格認定	資格認定Ⅰ	2	自由選択科目 ※	対象講座の受講が必要 (詳細はMUSCATでお知らせします)
	資格認定Ⅱ	2		
	資格認定Ⅲ	2		
	資格認定Ⅳ	1		
	資格認定Ⅴ	1		
	資格認定Ⅵ	1		
	資格認定Ⅶ	1		

3. ボランティア活動による認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
ボランティア活動	ボランティア活動1	1	自由選択科目 ※	ボランティア活動時間に応じて、1単位から4単位まで認定可能
	ボランティア活動2	1		
	ボランティア活動3	2		
	ボランティア活動4	2		
	ボランティア活動5	4		

※ 自由選択科目の区分がある学科・課程年度が対象です（自由選択科目の区分を設けていない学科・課程年度においては、卒業要件外科目となります）。

【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】

学科・課程年度によって武蔵野BASIS、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、構成が異なります。各自、自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。

● 卒業所要単位表

〇〇学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位数

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS	必修	単位区分に応じた科目名又は科目群	
	選択必修		
学科科目	必修		
	選択必修		
	選択		
自由選択科目※			

武蔵野BASISのうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

※自由選択科目の区分の有無と対象となる科目の構成は学科・課程年度によって異なります。

● 開講表

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

<公開年度>

年度によって科目の休講・廃止等があるため、最新年度の開講表を確認してください。

〇〇学部 XX学科 △△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表 [学科科目]

20XX年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【基礎科目群】						
ABCD 101	××基礎 1	1年		2	◆全員履修	
ABCD 102	ゼミナル	1年	1		◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年		2		
ABCD 104	□□論 1	1年		1		
ABCD 201	□□論 2	2年		1		休講
ABCD 106	◎◎学	1年		1	◇××基礎 1を履修していること	
AABB 106	◇◇法	1年		2		
AABB 101	○△□論	1年		2		4科目の中から2科目 選択必修
AABB 102	□□論 1	1年		2		
GHIJ 104	△△学理論	1年		2		
【基幹科目群】						
PJK 101	○○学理論	1年		2		
PJK 102	△○学理論	1年		2		
CDR 101	◇◇学理論	1年		2		
CDR 206	□□論 2	2年		2	◆□□論 1を履修していること	

科目の分類を表します。

<開講年次>
履修が可能となる学年。
(上位学年の科目は履修できません。)

<科目番号 (ナンバリング)>

カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられています。ナンバリングを参考にすることで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。レベルの詳細は、学修の手引きの「単位と科目」ページにある「ナンバリング (科目番号)」を確認してください。

<単位数>

必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

<履修条件>

科目によっては、学習効果を高めるために、学修の段階に応じた履修条件が設定されています。設定されている場合は、開講表の履修条件欄、又はシラバスに記載されています。

<備考>

選択必修や休講科目の情報など、科目の補足情報が記載されています。